



米国発表報道資料意識

アドビシステムズ社が 2005 会計年度第 1 四半期において 過去最高の売上を達成

インテリジェント ドキュメント事業の成長により、前年比 42% の増収を達成；
取締役会において 1 対 2 の株式分割を決議

【2005 年 3 月 24 日】

米国カリフォルニア州サンノゼ発（2005 年 3 月 17 日）（NASDAQ：ADBE）Adobe Systems Incorporated（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ 以下アドビ システムズ社）は、2005 年度第 1 四半期（2004 年 12 月 4 日から 2005 年 3 月 4 日）の決算結果を発表しました。

今四半期の売上は 4 億 7,290 万米ドルで、同社創立以来過去最高となりました。2004 年度の第 1 四半期は 4 億 2,330 万米ドル、同年第 4 四半期は 4 億 2,950 万米ドルでした。同社が 2005 年 2 月 1 日に上方修正した今四半期の売上目標は 4 億 5,000 万米ドルから 4 億 7,000 万米ドルの間でした。

アドビ システムズ社 CEO（最高経営責任者）であるブルース チゼンは、「デジタルコンテンツの利用が驚異的な速さで拡大し続けており、ユーザのアドビ製品およびソリューションへのニーズは高まる一方です。このような需要の堅調な伸びは、今四半期におけるインテリジェント ドキュメント事業分野で顕著です。Adobe® PDF による電子文書ワークフローは、各国の政府および行政機関における導入が拡大しています。第 1 四半期の好調な業績、および第 2 四半期に予定されている主要製品の発表を踏まえ、当社は、2005 年度の財務の業績目標を高く設定する予定です」と述べています。

今四半期の「一般に公正妥当と認められた会計原則（GAAP）」に基づく希薄化後 1 株当たり利益は、0.6 米ドルでした。海外所得の本国送金による税務上の影響およびベンチャープログラムへの投資損益を除く Non-GAAP に基づく同利益は 0.53 米ドルでした。GAAP ベース、Non-GAAP ベースともに上方修正後の今四半期の同利益の目標は、0.47 から 0.51 米ドルの範囲でした。

今四半期の GAAP に基づく純利益は 1 億 5,190 万米ドルでした。前年同期実績は 1 億 2,300 万米ドル、前年第 4 四半期実績は 1 億 1,350 万米ドルでした。

海外所得の本国送金による税務上の影響および投資損益に該当する項目を除く純利益の Non-GAAP ベースは、今四半期が 1 億 3,380 万米ドル、前年同期実績は 1 億 2,380 万米ドル、前年第 4 四半期実績は 1 億 1,040 万米ドルでした。

今四半期の GAAP に基づく希薄化後の 1 株当たり利益は、2 億 5,310 万株の加重平均株数に対し 0.6 米ドルでした。前年同期の 2 億 4,610 万株に対する同利益は 0.5 米ドル、前年第 4 四半期の 2 億 5,030 万株に対する同利益は 0.45 米ドルでした。

今四半期の GAAP に基づく 営業利益および Non-GAAP ベースの営業利益は、1 億 7,070 万米ドルでした。前年同期実績は 1 億 6,330 万米ドル、前年第 4 四半期実績は 1 億 4,640 万米ドルでした。売上に対する GAAP に基づく 営業利益率および Non-GAAP の営業利益率は今四半期が 36.1%、前年同期が 38.6%、前年第 4 四半期が 34.1% でした。

アドビ システムズ社取締役会において 1 対 2 の株式分割を決議

アドビ システムズ社は、同社取締役会において 1 対 2 の株式の分割を決議したと発表しました。2005 年 5 月 2 日現在、名簿に記載されている株主に対し、2005 年 5 月 23 日に所有株式 1 株について新株を 1 株発行します。株式分割に関する FAQ については以下の Web サイトをご参照ください。

<http://www.adobe.com/ADBE>

アドビ システムズ社取締役会は、今四半期の現金配当は、1 株当たり 0.0125 米ドルで、2005 年 3 月 29 日現在、名簿に記載されている同社の株主に対し、2005 年 4 月 12 日付けで支払われると発表しました。

アドビ システムズ社は 2005 年 4 月を最後に、四半期ごとの配当支払いを実施しないことを表明しました。四半期の配当支払いの為の資金は継続的な株式買戻しのために利用する予定です。

2005 年度第 2 四半期の目標を発表

アドビ システムズ社は 2005 年度第 2 四半期の目標を、売上高 4 億 7,500 万米ドルから 4 億 9,500 万米ドル、売上総利益率約 94%、および営業利益率は GAAP ベース、Non-GAAP ベースともに 35% から 37% に設定すると発表しました。

2005 年度第 2 四半期の売上に対する費用比率の項目別目標は以下の通りです。

研究開発費	およそ 18% から 19%
販売・マーケティング経費	およそ 30% から 31%
一般管理費	およそ 9%

さらに、アドビ システムズ社は同社の発行済み株式数について、2005 年度第 2 四半期は 2 億 5,600 万から 2 億 5,700 万株の範囲にすることを目標にしています。営業外収益については約 600 万米ドルから約 700 万米ドルを、実効税率については 25% を目標としています。2005 年度第 2 四半期の 1 株当たり利益の目標は、GAAP ベース、Non-GAAP ベースともに、0.51 から 0.55 米ドルの間となります。

アドビ システムズ社は現在のところ、Non-GAAP ベースの 1 株当たり利益と営業利益率の目標は、GAAP ベースの目標とほぼ同じであると考えています。

アドビ システムズ社は 2005 年度の同社の売上目標を約 19 億 2,500 万米ドル、営業利益率を約 36% に上方修正しました。(米国財務会計基準書 (SFAS) 第 123 号に定める株式による報酬は、現時点で見積不可能であるため含まれない) 2005 年度の同社の売上目標は約 18 億 5,000 万米ドルから約 19 億米ドル、営業利益率が約 34% から 35% でした。

将来的観測に基づく記述について

本プレスリリースは、実際の業績を大幅に異ならせる可能性のあるリスクと不確実性を内包した、売上、製品発売、売上総利益率、営業利益率、営業費用、実効税率、発行済み株式数、および1株当たり利益に関する将来的観測を含みます。そのような原因となり得る要素として、以下が挙げられますが、必ずしもこれらに限られるものではありません。

- 会社がビジネスを行っている主要地域での不慮の経済的、政治的環境変化
- 新製品や既存の製品の新しいバージョンの開発や出荷の遅延
- 既存の、または新たな競合他社による新製品の市場投入
- 新たなビジネスモデルや新たな市場への移行の失敗
- アプリケーションソフトウェア、コンピュータおよびプリンタ需要の変動
- 知的財産に関する紛争、訴訟
- 流通経路の変更
- ワームやウイルス等の悪質なコードが、当社のネットワークやアプリケーションに及ぼす影響
- 製造委託業者との契約関係の中断および解除
- 国際的な事業展開によるリスク
- 外国為替相場の変動
- 会計基準の変更
- 予期せぬ税率の変更
- 会社の株式投資にともなう市場リスク
- 主要な人材を集め、維持することができないこと

これらおよびその他のリスクと不確実性についての解説は、当社が証券取引委員会（SEC）に提出した、2004年度年次決算報告書（Form10-K）および2005年度四半期決算報告書（Form10-Q）等の書類をご参照下さい。アドビシステムズ社はこれら将来的観測を更新する義務を負うものではありません。

アドビシステムズ社について

アドビシステムズ社は、効果的で信頼性の高いデジタルコンテンツを制作、管理、配信するためのソフトウェアソリューションを提供する世界有数の企業です。アドビシステムズ株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Webサイト <http://www.adobe.co.jp/> でご覧いただけます。